

■ 掲示板

■ 第22回 (2022年度) 「一般財団法人材料科学技術振興財団 山崎貞一賞」

山崎貞一賞：「一般財団法人材料科学技術振興財団 山崎貞一賞 (以下、山崎貞一賞)」は、科学技術水準の向上とその普及啓発に寄与することを目的とし、また、当財団の初代理事長を務めた故山崎貞一氏の科学技術および産業の発展に対する功績、人材の育成に対しての貢献を記念して創設された賞であります。

募集対象分野 (2022年度)：

1. 「材料」
2. 「半導体及びシステム・情報・エレクトロニクス」

内容：

- (1) 受賞者の国籍は問いません。
- (2) 受賞者全員に賞状および各分野に対し賞金300万円を贈呈します。
- (3) 贈呈式典は11月に執り行う予定です。

※新型コロナウイルス感染症の状況により判断します。

- (4) 過去に応募し選に漏れた人でも、再応募可能です。その際、新たな発展、新たな資料をお持ちの場合は、それらも提示して応募書を作成し応募してください。
- (5) 複数人 (総計3名以内) で応募される場合は、各人につき応募書に詳細な寄与実績を記入してください。それぞれが異なる組織に所属していても応募可能です。

応募方法：必要書類一式を Web システムよりご提出ください。

申請書一式は、募集期間中に山崎貞一賞ホームページよりダウンロードいただけます。

山崎貞一賞ホームページ：

<https://www.mst.or.jp/Portals/0/prize/index.html>

募集期間：2022年3月15日 (火) ~ 4月30日 (土)

問合せ先：

一般財団法人 材料科学技術振興財団 山崎貞一賞事務局

TEL：03-3415-2200 (直通) FAX：03-3415-5987

E-mail：prize@mst.or.jp

■ 会告

■ 第26回日本放射光学会奨励賞選考結果報告

2021年9月24日開催の学術賞等選考委員会の選考結果として2名が推薦された。

その結果を受け、第132回評議員会にて第26回日本放射光学会奨励賞の授与が承認され、第35回総会にて賞状並びに副賞のメダルが授与された。

氏名、所属、並びに、選考理由は下記の通り。

- ・ 河口彰吾 ((公財)高輝度光科学研究センター 回折・散乱推進室)

「ハイスループットその場粉末回折自動計測システムの開発」

河口彰吾氏は、大型放射光施設 SPring-8 の粉末構造解析ビームライン BL02B2 において高分解能粉末回折データの高速データ収集システムを構築し、さらには多彩な試料環境制御下の測定を実現する機器及びそれらの自動迅速切替システムを開発した。当該ビームラインの新規利用者や発表論文数の増加は河口氏の功績に他ならない。特に、河口氏が独自に開発した試料のガス圧力を自動制御可能なリモートハンドリングシステムは画期的で、秒オーダー以下のガス吸着過程における多孔性金属錯体の構造相転移の観測に成功したことは高く評価できる。本システムはすでに全散乱や XAFS 等の他のビームラインでも利用されており、波及効果も大きい。

河口氏は、ガス吸着や反応下などのリアルタイムで進行する不可逆過程の結晶構造変化を計測するための装置開発と構造物性研究に取り組むだけでなく、利用者の効率的な実験実施のためのキャピラリーへの粉末自動充填装置なども開発し、汎用性と先進性を

両立する実験ステーションの実現に向け精力的に活動している。関連学会での評価も高く若手でありながら委員も任されるなど、放射光科学において今後もさらなる活躍が期待される希有な研究者である。以上により、河口彰吾氏は第26回日本放射光学会奨励賞に相応しいものと認められる。

・ 鈴木博人 (東北大学学際科学フロンティア研究所)

「共鳴非弾性 X 線散乱による強相関量子物質における素励起の研究」

鈴木博人氏は、鉄系超伝導体の光電子分光研究で博士の学位を取得後、軟 X 線共鳴非弾性 X 線散乱 (RIXS) を用いた物質科学研究の重要性にいち早く注目し、強相関電子系の研究で世界を先導している独国 Max Planck 研究所の Keimer グループに所属して研究を行ってきた。その中で代表的なものが、ESRF での銅酸化物高温超伝導体の超伝導ギャップ励起測定、および PETRA III での SrRu_2O_6 の Ru-L3 端 RIXS によるマグノン分散の観測であり、国際的にも高く評価されている。特に SrRu_2O_6 の RIXS 測定では、Ru-L 端がテングダー X 線領域 (~3 keV) にあり、X 線分光技術が未発達なため、これまで RIXS が行われてこなかったが、本研究ではこのエネルギー領域での RIXS の最初の成果であり、この新しいエネルギー領域を開拓した意味で高く評価できる。また、今後運用が開始される次世代放射光施設における中心的研究の1つとして大いに期待できる。

このように鈴木博人氏は軟 X 線 RIXS のみならずテングダー X 線 RIXS で世界を先導する成果を上げている。以上により、鈴木博人氏は第26回日本放射光学会奨励賞に相応しいものと認められる。

■第5回放射光科学賞選考結果報告

2021年9月24日開催の学術賞等選考委員会の選考結果として1名が推薦された。

その結果を受け、第132回評議員会にて第5回放射光科学賞の授与が承認され、第35回総会にて賞状が授与された。

氏名、所属、並びに、選考理由は下記の通り。

- ・野村昌治（高エネルギー加速器研究機構）

「XAFS計測技術の開発による放射光科学への貢献」

野村昌治氏は、X線吸収分光(XAFS)の計測技術の研究開発、及びその応用研究の普及において指導的・先導的役割を果たした。野村氏は、Photon FactoryにおいてXAFS法の計測技術の研究開発に取組み、その活動はX線光学系構築・計測プログラム開発・試料環境整備など極めて広範囲にわたり、国内他放射光施設におけるXAFSステーション構築ならびにXAFS計測技術の様々な科学技術分野への波及に多大な貢献を果たしてきた。

また、野村氏はXAFS法の高度化にも尽力し、代表的業績として、故松下正・高エネルギー加速器研究機構物質構造科学研究所・元副所長が先駆したDispersive XAFS(DXAFS)法の開発が挙げられる。湾曲結晶の集光分光技術開発を行い、マイクロ秒時間分解DXAFSを実現し、触媒の反応メカニズム解明等に役立てた。特に自動車触媒Pt/ZrO₂-CeO₂の酸素吸脱着過程を初めて捉えたDXAFS研究は国内外の注目を集めた。DXAFS法開発は、第二世代放射光源での時分割計測を具現化し、第三世代以降光源での極短時分割計測への流れをつけた点で重要な放射光科学の発展に位置付けられる。

このように野村昌治氏はXAFS分光を中心に我が国の放射光科学とそのコミュニティの発展に著しく貢献してきた。以上により、野村昌治氏は第5回放射光科学賞に相応しいものと認められる。

■第9回日本放射光学会功労報賞選考結果報告

2021年9月24日開催の学術賞等選考委員会の選考結果として1名が推薦された。

その結果を受け、第132回評議員会にて第9回日本放射光学会功労報賞の授与が承認され、第35回総会にて賞状が授与された。

氏名、所属、並びに、選考理由は下記の通り。

- ・山本安一（立命館大学SRセンター）

山本安一氏は、立命館大学SRセンターにおいて、26年間にわたり、安定運転・維持管理・高度化、ならびに、放射光利用従事者の教育と支援に従事してきた。

山本氏は、立命館大学SRセンターの光源を長期シャットダウンもなく長きにわたり利用運転に提供してきた。この間、加速器運転においては、ヘリウム液化機や高周波制御部およびそれらの制御システムの改良や電子ビームエミッタンスの制御により長寿命運転を達成した。また、ビームライン整備においては、小型放射光光源であることの利点を最大限に活かすX線ビームラインのミラー系の設計やリング内にミラーを直接導入することによる高光子束赤外ビームラインの設計なども実践してきた。このような光源安定運転やビームライン整備は、大学に設置された放射光利用施設として多くの学生・若手研究者に放射光科学の教育と利

用研究の機会を提供し、日本の放射光科学分野における人材育成に大きく貢献してきた。

以上のように、山本安一氏は、長年にわたる放射光利用研究環境の整備、および、利用支援への取り組みを通じて、放射光科学分野、特に、放射光利用機会の提供と若手研究者人材の育成に対する多大な功労があり、日本放射光学会功労報賞に相応しい技術者である。

■日本放射光学会第133回評議員会議事録

日 時：2022年1月6日(木) 12:30~14:00

場 所：Web (Zoom) 会議

出席者(29名)：足立純一、足立伸一、雨宮健太、雨宮慶幸、有馬孝尚、五十嵐教之、池本夕佳、太田俊明、岡島敏浩(会計幹事)、奥田太一、木下豊彦(学会賞幹事)、木村真一、熊坂崇(渉外幹事)、解良聡、小杉信博、島田賢也、清水伸隆、鈴木基寛、高橋嘉夫、田中義人、為則雄祐、中尾裕則、初井宇記、矢橋牧名、横山利彦(会長)、若林裕助(編集幹事)、和達大樹(広報幹事)、阿部仁(行事幹事)、松井文彦(庶務幹事)

欠席者(3名)：木村昭夫、小林幸則、近藤寛

事務局：佐藤亜己奈

0-1. 横山会長より、2021年12月に千川純一先生(日本放射光学会第3代会長)がご逝去された旨報告があった。哀悼の意を表し、出席者全員で黙祷を捧げた。

0-2. 会長挨拶を行った。

〈審議事項〉

1. 第35回総会議事

松井庶務幹事より、第35回総会の議事について説明があり、これを承認した。

2. 高良賞・佐々木賞について

木下学会賞幹事より、前回の評議員会では高良賞、佐々木賞を分野に応じて分ける方向で検討を進めることとなっていたが、幹事会で議論した結果、運用面等を考慮し「高良・佐々木賞」のように一つの賞としたほうが良いのではないかと結論となった旨、説明があった。「高良・佐々木賞」を一つの賞とする場合と、「高良賞および佐々木賞」を別の賞とする場合の2案が示され、審議の結果、「高良・佐々木賞」を一つの賞とする案を承認した。賞の名称は「高良・佐々木賞」、受賞対象者は「募集翌年の3月31日に35歳以上である正会員」とした。賞の内規は以下の通り。

日本放射光学会高良・佐々木賞内規 2022年1月6日評議員会制定

1. 日本放射光学会が規定する学術賞等の一つとして、日本放射光学会高良・佐々木賞を設ける。
2. 本賞は、放射光科学分野を先導してこられた故高良和武氏、故佐々木泰三氏の2人の元会長の遺徳をしのび、我が国においてにおいて優れた研究成果をあげた中堅研究者に授与するものである。
3. 受賞対象者は、募集翌年の3月31日に35歳以上である正会員とする。

4. 選考は以下の手続きによる。
- 応募方法は自薦, または, 他薦とし, 応募方法の詳細, 応募書類は, 募集要項に従う。
 - 選考は学術賞等選考委員会が行なう。学術賞等選考委員会で毎年1~2名の候補者を決定し, 委員長が評議員会に諮り, 評議員会の承認をもって決定する。但し, 該当者がない場合は授与しない。
 - 選考結果は, 総会で報告する。
5. 表彰は, 日本放射光学会年会において行う。

3. 大学院生の国際活動支援奨学金について
松井庶務幹事より, 2022年度の国際活動支援奨学金募集案について説明があり, これを承認した。奨学金の金額については開催場所にあわせて検討する旨, 説明があった。また, 推薦枠, 一般枠等の募集方法について小杉評議員から補足があった。
4. 2021年度決算案
岡島会計幹事より, 2021年度決算案について説明があり, これを承認した。暫定版からの変更点として, 税理士の提案により, 今後回収不能金となる可能性がある額を回収不能見込額として支出に加えたこと, クレジットカード会社に対する未収金は会員に対する未収金とは別枠としたこと等, 説明があった。
5. 2022年度予算案
岡島会計幹事より, 2022年度予算案について説明があり, これを承認した。
6. 会員異動
松井庶務幹事より, 第132回評議員会以降の入会申請に関して, 入会: 正会員5名(内学生1名)の報告があり, これを承認した。退会に関して, 正会員11名(内学生2名)を確認した。2022年1月6日現在の総会員数は, 1196名(内学生132名), 名誉会員2名, シニア会員97名, 賛助会員45社(47口), 特別賛助会員14団体(21口)。
会費3年間未納のため, 正会員30名, 賛助会員1社(1口)を自動退会とすることを確認した。また, 会費2年滞納者(正会員24名), 連絡先不明(正会員22名)のリストを確認した。
7. 協賛・後援・共催
熊坂渉外幹事より, 本学会に対する協賛・後援・共催依頼について事後承認の依頼があり, 協賛7件, 共催1件を承認した。また, メーリングリスト配信, HP掲載等について報告があった。
8. 細則・委員会規定改訂(広報委員会関連)
松井庶務幹事より, 広報委員会設置に関連した細則・委員会規定の改訂について以下のように提案があり, これを承認した。

細則

(改訂前)	
細則 第4章第8条	本会に, 編集委員会, 行事委員会, 学術賞等選考委員会および渉外委員会を置くことができる。これらの常置委員会を設置する場合は, それぞれ別に定める規定に従って運営される。
(改訂後)	
細則 第4章第8条	本会に, 編集委員会, 行事委員会, 学術賞等選考委員会, 渉外委員会および 広報委員会 を置くことができる。これらの常置委員会を設置する場合は, それぞれ別に定める規定に従って運営される。

委員会関係規程

(規定を追加)	
委員会関係規程	<p>広報委員会規程</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 広報委員会は, 学会の広報活動を目的とする。 2. 広報委員会は, 数名の広報委員よりなる。 3. 広報委員長は, 広報担当幹事があたる。広報委員長の任期は2年とする。ただし, その任期が4年を超えない範囲において重任することができる。 4. 広報委員は, 広報委員長によって正会員のなかから指名される。 5. 広報委員会は, 評議員会の決定した基本方針に基づいて, 国内および国外に対する広報関連事項を審議し, 処理する。

〈報告事項〉

1. JSR2022準備状況
阿部行事幹事より, 2022年1月7日(金)~9日(日)に開催する第35回年会・合同シンポ(JSR2022)の準備状況について報告があった。
2. JSR2023準備状況
阿部行事幹事より, 第36回年会・合同シンポ(JSR2023)は, 2023年1月7日(土), 8日(日), 9日(月・祝)に立命館大学びわこ・くさつキャンパスで開催予定との報告があった。
3. 会誌編集状況
若林編集幹事より, 依頼記事の進捗状況, 特集号の予定等, 会誌編集状況について報告があった。また, 編集委員会構成の一部変更について報告があった。
4. 広報業務報告
和達広報幹事より, 学会ホームページの改訂を進めていること, 若手有志研究会の開催を予定していることについて報告があった。

評議員会日程(予定)の確認

- 第134回評議員会 2022年4月9日(土) 場所: 未定
第135回評議員会 2022年7月9日(土) 場所: 未定
第136回評議員会 2022年10月22日(土) 場所: 未定

■第35回（2022年）日本放射光学会総会議事録

日 時：2022年1月7日（金） 15：30～16：30

場 所：Web(Zoom) 会議

出席者：出席者：237名 委任状：32名 計：269名

定款第28条により、正会員の1/10（120名）以上の参加で総会は成立。

（議事）

1. 議長選出
議長に木村真一会員を選出した。
2. 2022年度会長挨拶
横山会長より挨拶があり、放射光施設の連携協力、放射光ユーザーの拡張、国際協力、人材育成を4つの柱に、前執行部の方針を継続して放射光科学のさらなる発展を目指すといった2022年度活動方針について所信表明があった。
3. 2021年度事業報告
松井庶務幹事より、2021年度の学会活動について報告があった。
4. 2022年度事業計画
松井庶務幹事より、2022年度の事業計画について説明があった。
5. 2022年度学会組織
松井庶務幹事より、2022年度の学会組織（会長、幹事、評議員、各委員会）について報告があった。
6. 2022年度行事幹事活動方針
阿部行事幹事より、2021年度の活動について報告があった。また、年会・合同シンポジウムの開催、若手研究会・基礎講習会の継続、放射光共同利用60周年記念シンポジウムの開催など、2022年度の行事活動方針について報告があった。
7. 2022年度編集幹事活動方針
若林編集幹事より、新しい連載企画「情報科学を活用した放射光実験（仮題）」の検討、特集号の掲載予定等、2022年度活動方針について報告があった。
8. 2022年度渉外幹事活動方針
熊坂渉外幹事より、国内外の関連する機関・学会等との交流を深めることを目的とし、放射光と本学会の認知度を高めつつ、相互に意義のある活動を行うとともに、学会会員の情報の交換・発信を促進することを基本方針として、関連機関・学会等との連携、学会会員への情報提供、特別賛助会員、賛助会員への対応等の活動を行う旨、報告があった。
9. 2022年度広報幹事活動方針
松井庶務幹事より、ホームページの改訂、若手の活動の活性化、若手有志研究会の開催等、2022年度の広報幹事活動方針について報告があった。
10. 第26回奨励賞
横山会長より、以下の2名を第26回奨励賞の受賞者として決定した旨の報告があった。
河口彰吾 会員（(公財)高輝度光科学研究センター 回折・散乱推進室）
「ハイスルーブットその場粉末回折自動計測システムの開発」

鈴木博人 会員（東北大学学際科学フロンティア研究所）

「共鳴非弾性 X 線散乱による強相関量子物質における素励起の研究」

11. 第9回功労報賞

横山会長より、以下の1名を第9回功労報賞の受賞者として決定した旨の報告があった。

山本安一氏（立命館大学 SR センター）

12. 第5回放射光科学賞

横山会長より、以下の1名を第5回放射光科学賞の受賞者として決定した旨の報告があった。

野村昌治氏（高エネルギー加速器研究機構）

「XAFS 計測技術の開発による放射光科学への貢献」

13. 高良・佐々木賞について

木下学会賞幹事より、放射光科学分野を先導してこられた故高良和武先生、故佐々木泰三先生の遺徳をしのぶ賞として、高良・佐々木賞が制定された旨、報告があった。受賞対象者は、募集翌年の3月31日に35歳以上である正会員で、今年度から募集を始めるとの説明があった。

14. 大学院生の国際活動支援奨学金について

松井庶務幹事より、大学院生の国際活動支援奨学金募集について、2020年度、2021年度はCOVID-19の影響により募集できなかったが2022年度は募集予定で準備を進めている旨、報告があった。

15. 2021年度決算報告

岡島会計幹事より、2021年度決算および資産負債明細について説明があり、これを承認した。

16. 2022年度予算案

岡島会計幹事より、2022年度予算案が示され、これを承認した。

■会員異動

第133回評議員会（2022年1月6日）で承認

《正会員入会》

中堤 基彰 欧州 X 線自由電子レーザー施設 HED instrument

小坂谷 貴典 自然科学研究機構 分子科学研究所

梅名 泰史 名古屋大学シンクロトロン光研究センター

Daobin Liu The University of Tokyo The Institute for Solid State Physics

以上4名

《学生会員入会》

Muhammad Frassetia Lubis 大阪大学

以上1名

《退会会員》

正会員9名、学生会員2名

《会員数》

会員1196名（内学生132名）名誉会員2名 シニア会員97名

賛助会員45社（47口）特別賛助会員14団体（21口）

日本放射光学会2021年度決算書
自 2020年10月1日 至 2021年9月30日

1. 収入の部

(単位 円)

科 目	細 目	金 額		備 考
会費収入	正会員会費収入	8,728,000	12,517,000	11,662,000
	学生会員会費収入	4,000		7,920,000
	賛助会員会費収入	2,450,000		7,000
	購読会員会費収入	285,000		2,400,000
	特別賛助会員会費収入	1,050,000		285,000
会誌収入	会誌広告収入	3,392,400	4,034,288	4,065,968
	会誌販売収入	264,775		3,424,080
	別刷収入	311,113		264,775
	会誌カラー印刷費	66,000		311,113
年会・合同シンポより	年会・合同シンポより	1,617,000	1,617,000	1,617,000
行事開催収入	基礎講習会	88,000	88,000	88,000
単行本出版収入	販売収入(ビームライン光学技術)	75,585	90,558	90,558
	販売収入(ブルーボックスおよび検出器)	14,973		75,585
雑収入	Amazon アソシエイト・プログラム紹介料	5,166	5,332	5,332
	受取利息	166		5,166
収入の部合計			18,352,178	17,528,858

備考欄は未収金を除いた金額

2. 支出の部

科 目	細 目	金 額		備 考
学会誌出版費	会誌印刷費（小宮山印刷工業）	3,535,564	4,722,693	4,722,693
	別刷印刷費（小宮山印刷工業）	67,033		3,535,564
	会誌発送費（小宮山印刷工業）	936,096		67,033
	原稿料	184,000		936,096
学会奨励賞費	特注純銀メダル等	70,259	126,459	126,459
	授賞式用会長旅費	56,200		70,259
行事開催費	基礎講習会開催費	311,024	389,637	389,637
	若手研究会開催費	78,613		311,024
事業費	会議費	0	668,255	668,255
	通信費	232,131		0
	印刷費	700		232,131
	事務局交通費	0		700
	AOFSRR 協賛金	0		0
	国際活動支援奨学金	0		0
	マイページ	435,424		0
				435,424
管理費	消耗品費	0	263,715	263,715
	運賃（宅急便+メール便）	14,300		0
	支払手数料	158,963		14,300
	web サーバー維持費	67,870		158,963
	学会誌等処分費	0		67,870
	PayPal 処理手数料	1,354		0
	クレジットカード手数料	21,228		1,354
	その他管理費	0		21,228
予備費	予備費	0	0	0
ポラリス事務委託費	会員業務委託費	778,800	6,722,771	6,722,771
	会計業務委託費	264,000		778,800
	庶務業務委託費	1,416,800		264,000
	ホームページ更新等	583,000		1,416,800
	イベント関連業務	176,000		583,000
	学会誌関連業務	2,793,450		176,000
	保管料（倉庫代）	132,000		2,793,450
	その他業務費	578,721		132,000
会計業務費	税理士顧問料	110,000	110,000	110,000
諸会費	男女共同参画協会連絡会	10,000	10,000	10,000
回収不能金			1,190,000	0
回収不能見込額			805,000	0
支出の部合計			15,008,530	13,013,530

備考欄は収入の部の未収分を除いた金額

3. 収支計算の部

科 目	細 目	金 額		備 考
当期収支差額			3,343,648	4,515,328
前期繰越金			29,108,634	26,520,954
次期繰越金			32,452,282	31,036,282

備考欄は収入の部の未収分を除いた金額

2021年度資産負債明細

2021年9月30日現在

1. 流動資産の部

(単位 円)

科 目	細 目	金 額	備 考
1. 現金及び預金	手持現金残高	0	0
	東京貯金事務センター 振替貯金 0019-0-25525	20,073,577	20,073,577
	三菱UFJ銀行池袋支店 普通預金 5191785	24,563,098	24,563,098
2. 未収金	正会員会費未収残高	1,508,000	0
	学生会員会費未収残高	24,000	0
	賛助会員会費未収残高	150,000	0
	購読会員会費未収残高	195,000	0
	会誌販売, 他未収残高	52,000	0
	ROBOT PAYMENT 未収残高	1,980,000	1,688,000
	2022年度回収不能見込額	△805,000	0
3. 立替金		0	0
4. 前払金		0	0
5. 貸付金	JSR2022準備金	1,000,000	1,000,000
流動資産の部合計		48,740,675	47,324,675

未収金を含まない金額

2. 負債の部

科 目	細 目	金 額
1. 会費前受金	正会員会費 805名	6,396,000
	学生会員会費 0名	0
	賛助会員会費 42社 (44口)	2,200,000
	特別賛助会員会費 12団体 (19口)	950,000
2. 未払金	通信費, ボラリス業務委託費	6,742,393
3. 預り金		0
負債の部合計		16,288,393

3. 剰余金の部

科 目	細 目	金 額	備 考
1. 前期繰越金		29,108,634	26,520,954
2. 当期収支差額		3,343,648	4,515,328
剰余金の部合計		32,452,282	31,036,282

未収金を含まない金額

負債・剰余金の部合計		48,740,675	47,324,675
------------	--	------------	------------

日本放射光学会2022年度予算書
自 2021年10月1日 至 2022年9月30日

1. 収入の部

(単位 円)

科 目	細 目	金 額		備 考
会費収入	正会員会費収入	8,428,000	12,113,000	11,308,000
	学生会員会費収入	0		7,623,000
	賛助会員会費収入	2,350,000		0
	購読会員会費収入	285,000		2,350,000
	特別賛助会員会費収入	1,050,000		285,000
会誌収入	会誌広告収入	3,400,000	4,000,000	4,000,000
	会誌販売収入	250,000		3,400,000
	別刷収入	250,000		250,000
	会誌カラー印刷費	100,000		100,000
年会・合同シンポより	年会・合同シンポより	0	0	0
行事開催収入	基礎講習会	100,000	100,000	100,000
単行本出版収入	販売収入(ビームライン光学技術)	50,000	60,000	60,000
	販売収入(ブルーボックスおよび検出器)	10,000		50,000
雑収入	Amazon アソシエイト・プログラム紹介料	0	1,000	1,000
	その他	0		0
	受取利息	1,000		1,000
収入の部合計			16,274,000	15,469,000

備考欄は未収金を除いた金額

2. 支出の部

科 目	細 目	金 額		備 考
学会誌出版費	会誌印刷費（小宮山印刷工業）	3,500,000	4,550,000	4,550,000
	別刷印刷費（小宮山印刷工業）	50,000		3,500,000
	会誌発送費（小宮山印刷工業）	900,000		50,000
	原稿料	100,000		900,000
学会奨励賞費	特注純銀メダル等	100,000	100,000	100,000
	授賞式用会長旅費	0		100,000
行事開催費	基礎講習会開催費	250,000	1,250,000	1,250,000
	若手研究会開催費	1,000,000		250,000
事業費	会議費	450,000	3,560,000	3,560,000
	通信費	250,000		450,000
	印刷費	30,000		250,000
	事務局交通費	30,000		30,000
	AOFSRR 協賛金	1,100,000		1,100,000
	国際活動支援奨学金	1,000,000		1,000,000
	マイページ	700,000		700,000
管理費	消耗品費	40,000	625,000	625,000
	運賃（宅急便+メール便）	20,000		40,000
	支払手数料	180,000		20,000
	web サーバー維持費	60,000		180,000
	学会誌等処分費	55,000		60,000
	PayPal 処理手数料	10,000		55,000
	クレジットカード手数料	250,000		10,000
	その他管理費	10,000		250,000
予備費	予備費	100,000	100,000	100,000
ポラリス事務委託費	会員業務委託費	860,000	6,640,000	6,640,000
	会計業務委託費	260,000		860,000
	庶務業務委託費	1,100,000		260,000
	ホームページ更新等	550,000		1,100,000
	イベント関連業務	200,000		550,000
	学会誌関連業務	3,000,000		200,000
	保管料（倉庫代）	130,000		3,000,000
	その他業務費	540,000		130,000
会計業務費	税理士顧問料	110,000	110,000	110,000
諸会費	男女共同参画協会連絡会	10,000	10,000	10,000
回収不能金			805,000	0
回収不能見込額			0	0
支出の部合計			17,750,000	16,945,000

備考欄は収入の部の未収分を除いた金額

3. 収支計算の部

科 目	細 目	金 額		備 考
当期収支差額			-1,476,000	-1,476,000
前期繰越金			32,452,282	31,036,282
次期繰越金			30,976,282	29,560,282

備考欄は収入の部の未収分を除いた金額

■日本放射光学会2022年度組織

■会長（任期：2021.10.01-2023.09.30）

横山利彦（分子研）

■幹事（任期：2021.10.01-2023.09.30）

庶務幹事 松井 文彦（分子研）
行事幹事 阿部 仁（KEK/茨城大）
編集幹事 若林 裕助（東北大）
渉外幹事 熊坂 崇（JASRI）
会計幹事 岡島 敏浩（あいち SR）
広報幹事 和達 大樹（兵庫県立大）
学会賞幹事 木下 豊彦（JASRI）

■評議員

（任期：2020.10.01-2022.09.30）

足立 伸一（KEK）
雨宮 健太（KEK）
有馬 孝尚（東大）
五十嵐教之（KEK）
岡島 敏浩（あいち SR）
木下 豊彦（JASRI）
解良 聡（分子研）
小林 幸則（KEK）
近藤 寛（慶應義塾大）
島田 賢也（広大）
高橋 嘉夫（東大）
為則 雄祐（JASRI）
矢橋 牧名（理研）
横山 利彦（分子研）
和達 大樹（兵庫県立大）
（任期：2021.10.01-2023.09.30）
足立 純一（KEK）
雨宮 慶幸（JASRI）
池本 夕佳（JASRI）
太田 俊明（立命館大）
奥田 太一（広大）
木村 昭夫（広大）
木村 真一（阪大）
熊坂 崇（JASRI）
小杉 信博（KEK）
清水 伸隆（KEK）
鈴木 基寛（関学）
田中 義人（兵庫県立大）
中尾 裕則（KEK）
初井 宇記（理研）
若林 裕助（東北大）

■行事委員

（任期：2021.10.01-2023.09.30）

阿部 仁（KEK/茨城大）委員長
上野 哲朗（量研）

片山 真祥（立命館大）
河智 史朗（兵庫県立大）
武市 泰男（KEK）
豊田 智史（東北大）
丹羽 尉博（KEK）
堀尾 真史（東大）
真木祥千子（東北大）
水牧仁一朗（JASRI）
宮脇 淳（量研）
山添 康介（JASRI）

■編集委員

（任期：2021.07.16-2021.12.31）
本田 孝志（KEK）
（任期：2019.10.01-2022.09.30）
吉越 章隆（原子力機構）
（任期：2020.10.01-2022.09.30）
林 雄二郎（理研）
原田 哲男（兵庫県立大）
引田 理英（KEK）
藤本 将輝（分子研）
堀場 弘司（量研）
宮本 幸治（広大）
矢治光一郎（NIMS）
山本 尚人（KEK）
（任期：2021.11.25-2022.09.30）
尾原 幸治（JASRI）
（任期：2021.10.01-2023.09.30）
若林 裕助（東北大）委員長
上野 剛（理研）
大坂 泰斗（理研）
木村 耕治（名工大）
杉山 武晴（九大）
全 炳俊（京大）
高松 大郊（榊日立製作所）
永谷 清信（京大）
松村 大樹（原子力機構）
水牧仁一朗（JASRI）

■広報委員

（任期：2021.10.01-2023.09.30）
和達 大樹（兵庫県立大）委員長
岩澤 英明（量研）
角田 一樹（原子力機構）

■2022年度の主な事業計画

- 第35回年会・放射光科学合同シンポジウム
2022年1月7日～9日（ハイブリット開催/オンラインおよび東京大学本郷キャンパス）
- 第35回総会
2022年1月7日（オンライン）
- 第5回放射光科学賞，第26回奨励賞，第9回功労報賞授与
2022年1月7日（東京大学本郷キャンパス）
- 若手研究会
- 基礎講習会
2022年夏季開催予定
- 評議員会（10月，1月，4月，7月）
- 編集委員会（年3回）
- 行事委員会（年1回，年会時）
- 拡大放射光施設代表者会議
- 学会各賞授賞選考（奨励賞，功労報賞，放射光科学賞，高良・佐々木賞）
- 次期評議員選挙
- 学会誌の定期発行（年6回）
Vol.34, No.6/2021年11月末発行
Vol.35, No.1/2022年1月末発行
Vol.35, No.2/2022年3月末発行
Vol.35, No.3/2022年5月末発行
Vol.35, No.4/2022年7月末発行
Vol.35, No.5/2022年9月末発行
- 第36回年会・放射光科学合同シンポジウム
（2023年1月）準備

● オンライン会誌利用方法に関するご案内 ●

オンライン会誌は，放射光学会ホームページ右上にある，学会誌バックナンバー（<http://www.jssrr.jp/journal/index.html>）からご覧いただけます。

2021年（Vol. 34）と2022年（Vol. 35）の学会誌閲覧にはユーザー ID とパスワードの入力が必要になります。ユーザー ID とパスワードは

User ID: jsr352

Password: 3ieaUwh8

です。このユーザー ID とパスワードは，次号が発行された後に失効します。

会員以外の方へのパスワード漏洩は禁止いたします。また，記事の著作権は日本放射光学会にありますので，転載等のご希望に関しては，必ず事務局までご連絡下さい。良識あるご利用で，会員の皆様のお役に立てれば幸いです。

オンライン会誌に関してご不明な点がございましたら，事務局（jssrr@jssrr.jp）までご連絡下さい。

■行事予定

開催月日	名 称	開 催 地	主催又は問い合わせ先	掲載巻・号
2022年 5/31 -6/3	第9回硬 X 線光電子分光に関する国際会議	アクリエ姫路（姫路市文化コンベンションセンター）	理化学研究所 放射光科学研究センター, HAXPES2022実行委員会 E-mail: haxpes2022@spring8.or.jp	34・6
6/22-24	第47回光学シンポジウム	現地（東京大学生産技術研究所）とオンラインのハイブリット開催	一般社団法人 日本光学会 E-mail: optsymp47-aud@myosj.or.jp	35・2
9/4-9	第18回液体及びアモルファス金属国際会議	JMS アステールプラザ 広島市国際青年会館	第18回液体及びアモルファス金属国際 会議組織委員会 E-mail: office@lam-18.hiroshima-u.ac.jp	34・6
9/11-16	The 22nd International Vacuum Congress (IVC-22)	札幌コンベンションセンター	公益社団法人 日本表面真空学会, 日本 学術会議 E-mail: ivc22@jvss.jp	35・2
11/8-11	第35回マイクロプロセス・ナノテクノロジー国際会議 (MNC 2022)	JR クレメント徳島またはオンライン・オンデマンド会議	公益社団法人 応用物理学会 E-mail: secretariat@imnc.jp	35・2
11/11	第24回ミレニアム・サイエンス・フォーラム	駐日英国大使公邸	ミレニアム・サイエンス・フォーラム 運営委員会 http://www.msforum.jp/	35・2

■第47回光学シンポジウム

主催：一般社団法人 日本光学会

協賛：日本放射光学会，他

日時：2022年6月22日（水）～6月24日（金）

場所：現地（東京大学生産技術研究所）とオンラインのハイブリット開催

問合せ先：コニカミノルタ株式会社 野口 一能

E-mail: optsymp47-aud@myosj.or.jp

詳細：http://myosj.or.jp/event2/opt_symp/

■The 22nd International Vacuum Congress (IVC-22)

主催：公益社団法人日本表面真空学会，日本学術会議

協賛：日本放射光学会，他

日時：2022年9月11日（日）～9月16日（金）

場所：札幌コンベンションセンター

問合せ先：JVSS IVC-22 Secretariat

E-mail: ivc22@jvss.jp

詳細：<https://ivc22.org/>

■第35回マイクロプロセス・ナノテクノロジー国際会議 (MNC 2022)

主催：公益社団法人 応用物理学会

協賛：日本放射光学会，他

日時：2022年11月8日（火）～11月11日（金）

場所：JR クレメント徳島またはオンライン・オンデマンド会議

問合せ先：

第35回マイクロプロセス・ナノテクノロジー国際会議 (MNC 2022) 事務局

(尙)セクレタリーアート気付

E-mail: secretariat@imnc.jp

詳細：<https://imnc.jp/2022/>

■第24回ミレニアム・サイエンス・フォーラム

主催：ミレニアム・サイエンス・フォーラム運営委員会

後援：日本放射光学会，他

日時：2022年11月11日（金）

場所：駐日英国大使公邸

詳細：<http://www.msforum.jp/>